

もり はし きよてん 森林から創まる「ちくさの拠点」づくり

— みんなで進める地域の基地づくり —

2月15日に「第7回千種生活圏の拠点づくり検討委員会」を開催しました。高校生の意見や、1月に行った視察先の取組について情報を共有しました。また、これまでの検討委員会での意見を踏まえた千種生活圏の拠点づくりの考え方（中間とりまとめ案）について議論しました。



千種高校生徒からの主な意見（一部抜粋）

- ・ バスの本数が増えれば、他の中学校からも千種高校へ通学しやすくなる。
- ・ 夏はええとこ広場で帰りのバスを待っているが、冬は寒くて待つ場所がない。
- ・ 千種町は地域が安心して安全なところが好きなのところだが、土・日曜日に遊ぶところがないので、外で遊べる場所があるといい。
- ・ 道路やガードレールに似顔絵を貼るなどして、商店街を明るくしてはどうか。
- ・ 子どもが集まるようなスペースをつくっても、高校生が集まっていると小中学生が利用しにくいのではないか。

先進地視察（鳥取県南部町・島根県松江市八雲地域）

拠点づくりを現在進行形で進めている南部町の取組と、地域の核になる拠点施設を整備されている松江市八雲地域を視察してきました。

○南部町の取組

地域の強みを活かして「地元住民も移住者も暮らしやすい」まちづくりをめざす。町の中心部を拠点エリアとして、空き家などを活用しながら、交流拠点施設を整備。また、まちづくりを担うNPO法人を設立し、地域で必要とされる人材の誘致などに取組み、移住と交流の促進により、地域の活性化を進めている。



古民家を改修した地元住民と移住者の交流施設

○松江市八雲地域の拠点施設

4 つの機能（社会福祉協議会、公民館、生涯学習・文化ホール、松江市八雲支所）を集約。平成 6 年に建築された文化ホールを改修し、福祉と文化の拠点施設として整備され、地域活動の場、学生や子育て世代の憩いの場として活用されている。



拠点施設内の研修室

千種生活圏の拠点づくりの考え方（中間とりまとめ案）

これまでの意見を踏まえ、「ちくさの拠点」づくりに向けた中間的なまとめをしました。拠点と考えられる市民局周辺とエーガイヤちくさ周辺の機能をどうしていくかなど、活発な意見交換となりました。

《 中間とりまとめ案に関する主な意見（一部抜粋） 》

- ・ エーガイヤちくさは、観光など外向きの機能をもった方がいいのではないか。
- ・ 千種町では幼稚園から高校まで連携が進んでいる。高校生の下宿や千種町の良好な子育て環境を PR して、移住者を呼び込めないか。
- ・ エーガイヤちくさには、今以上の機能が入るスペースがないのではないか。また、駐車スペースが不足するのではないか。
- ・ 行政機能は現在の市民局周辺に置くべきではないか。ワンストップサービスは重要だが、拠点となるエリア内に機能を分散する方がいいのではないか。
- ・ 5～10 年先にどういう形にすると利便性がいいか、安心して暮らすことができるのか考えていく必要があるのではないか。
- ・ 高校生の意見にもあったが、高校の授業にスキーやゴルフなど千種町の特徴を活かした取組を取り入れていくべきではないか

※ 中間とりまとめ案や高校生の意見など市のホームページに掲載しています。

これまでは意見を述べるだけでしたが、意見をまとめて形にしていくことで、これから議論が深まってくると思います。次回の委員会はエーガイヤちくさを見学し、今後の活用について検討していく予定です。

■ 千種生活圏の拠点づくりに関するお問合せ先

穴粟市役所企画総務部 地域創生課

電話：0790-63-3066

FAX：0790-63-3060

e-mail：chiikisosei-kk@city.shiso.lg.jp

千種市民局まちづくり推進課

電話：0790-76-2210

FAX：0790-76-8020

e-mail：ch-machizukurisuishin-kk@city.shiso.lg.jp

